



## 宮城県職員募集2025

# 建築

# 業務紹介



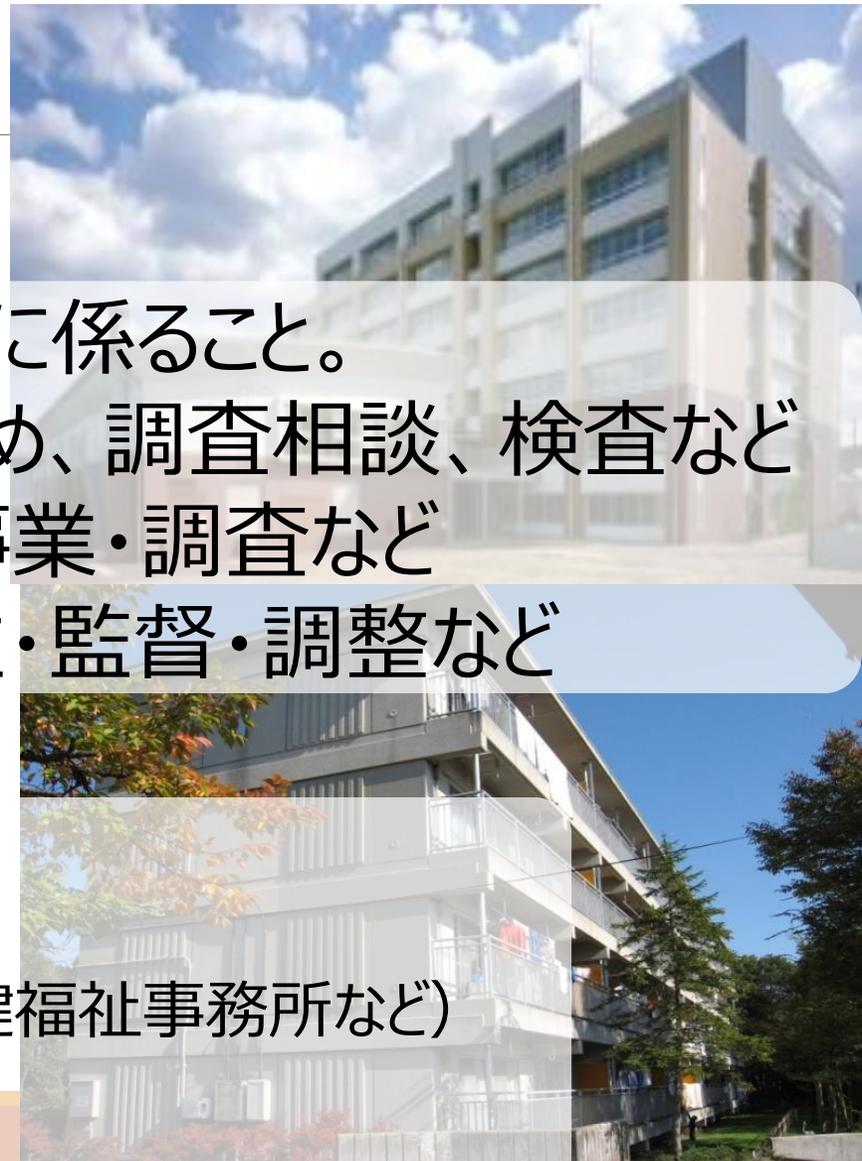
## ◆ 概要

1. 建築(都市計画)・住宅・営繕行政に係ること。
  - ・建築物の安全にかかわる法律の取り決め、調査相談、検査など
  - ・県営住宅の改修・住宅施策に関する事業・調査など
  - ・公共建築物の新築・改修・解体の発注・監督・調整など

## ◆ 勤務先

本庁各課 (土木部、教育庁、総務部など)

地方機関 (県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など)



**自己紹介** ◆ 出身 : 宮城県仙台市  
◆ 入庁までの経歴: H24.3 仙台高専(旧宮城高専建築学科)卒業

## 入庁後の異動歴(現在入庁13年目) **6**公所目

H24.4~ (3年間)	土木部 建築宅地課 開発防災班 県内の開発許可許認可事務、検査、相談、違反指導など	建築
H27.4~ (3年間)	気仙沼土木事務所 建築班 気仙沼・志津川管内の建築行政事務、検査、相談、違反指導など	建築
R30.4~ (4年間) <b>1級建築士取得</b>	土木部 営繕課 営繕第1班 県内の県有施設の新築・改修・解体の監督や他部署の工事相談など	営繕
R3.4~ (2年間) <b>建築主事取得</b>	土木部 住宅課 住宅整備班 県内の県営住宅の改修・保全、住宅施策関係の補助金、災害公営住宅建設の指導など	住宅
R6.5~ (1年間)	石川県土木部 建築住宅課 応急仮設住宅建設チーム 令和6年能登半島地震・豪雨災害における仮設住宅建設など	営繕 住宅
R7.5~ (現在) <b>イマココ</b>	土木部 都市計画課 企画調査班 県内の都市計画、都市施設、用途地域等の行政事務、市町村からの相談など	建築 都市計画

# 志望動機

## ◆ なぜ公務員？

- ・東日本大震災からの復興にかかわる仕事をしたかった。
- ・仕事と私生活のバランスがとりやすそうだった。
- ・デスクワークと技術的な仕事のバランスがよさそうだった。

## ◆ なぜ宮城県庁？

- ・市町村より広範囲な仕事ができると思った。(業務範囲や地域範囲)
- ・東北の中で一番大きい県で、携われる仕事のボリュームや種類も多く自身のスキルアップにつながると思ったから。

# これまでに担当した業務の紹介



平成30年  
若林警察署  
(仙台市)  
新築工事

営繕



令和5年  
町宮神明住宅  
(丸森町)  
新築工事  
(補助金審査)

住宅



令和6年  
応急仮設住宅  
(石川県輪島市)  
新築工事

営繕  
住宅



営繕

令和3年  
貞山2号上屋倉庫  
(塩竈市)  
新築工事

## 都市計画

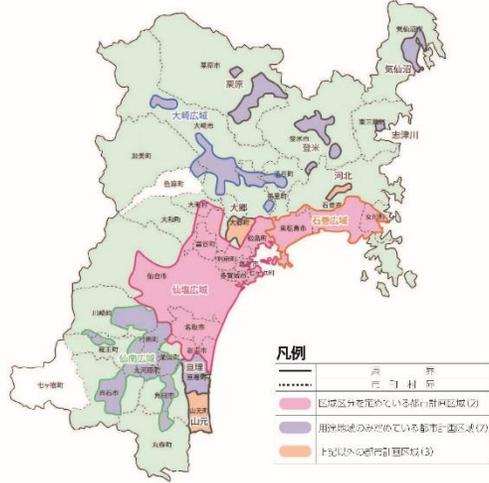
みんなで作る住みやすいまち

土地の利用や建物の建て方のルール、道路や公園などの計画を定めています。

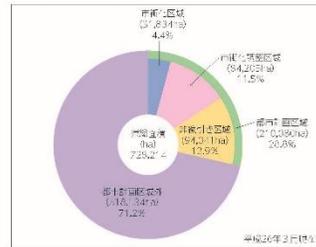
### 1 都市計画区域

健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動を確保するという都市計画の基本理念を達成するために都市計画法などが適用される区域です。行政区域にとらわれるものではなく、市街地の広がりや生活圏域なども考慮し、一体の都市として整備、開発及び保全する必要のある区域を都道府県が指定するものです。宮城県内には、35市町村のうち33市町村で12の都市計画区域が指定されています。

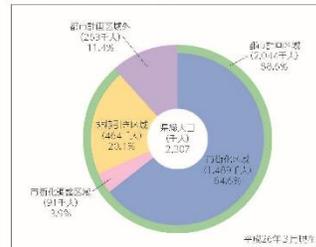
#### ■都市計画区域図



#### ■県総面積に対する割合



#### ■県総人口に対する割合



### 2 都市計画の基本方針

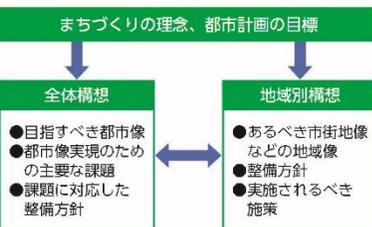
#### 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 (都市計画区域マスタープラン)

都市の発展の動向、人口や産業の現状や将来の見通しなどを勘案して、都市の将来像を明確にしなが都市計画の基本的な方向性を示すものです。この方針は県が一市町村を超える広域的見地から策定し、これに即して具体的な都市計画が定められます。

① 都市計画の目標	人口の状況及び将来の見通し	産業の状況及び将来の見通し
② 区域区分を定める際の方針	区域区分の有無	区域区分の方針
③ 主要な都市計画の決定の方針	土地利用に関するもの	自然環境の整備又は保全に関するもの
	都市施設に関するもの	市街地開発事業に関するもの

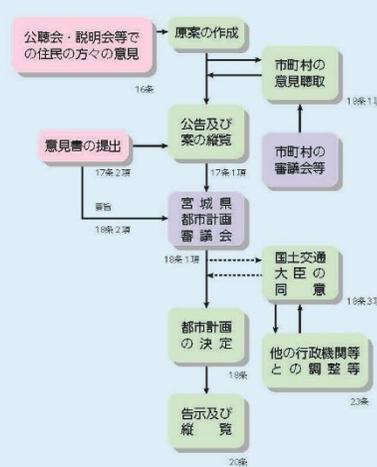
#### 市町村の都市計画に関する基本方針 (市町村マスタープラン)

市町村が定める都市計画の根拠となるもので、市町村における都市の将来のあるべき姿を示すものです。都市計画区域マスタープランに即し、住民に最も身近な地方公共団体である市町村が、より地域に密着した見地から策定します。

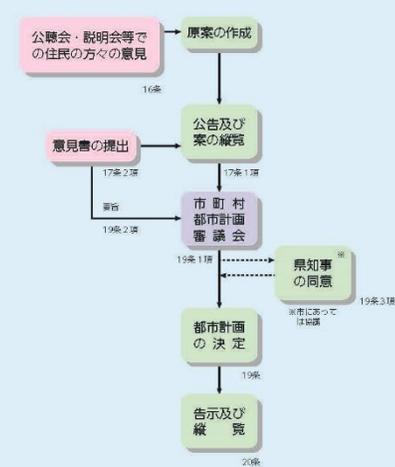


## 都市計画の決定手続フロー

### ■県が定める都市計画の決定手続



### ■市町村が定める都市計画の決定手続



○宮城県内の都市計画を決める都市計画課。

・都市計画マスタープラン、用途地域などを国、市町村と協議し、決定していく。

・企業の立地などの検討を適正な土地利用の観点から支援・指導し、将来の宮城県の都市生活を支えるべく業務を行っている。

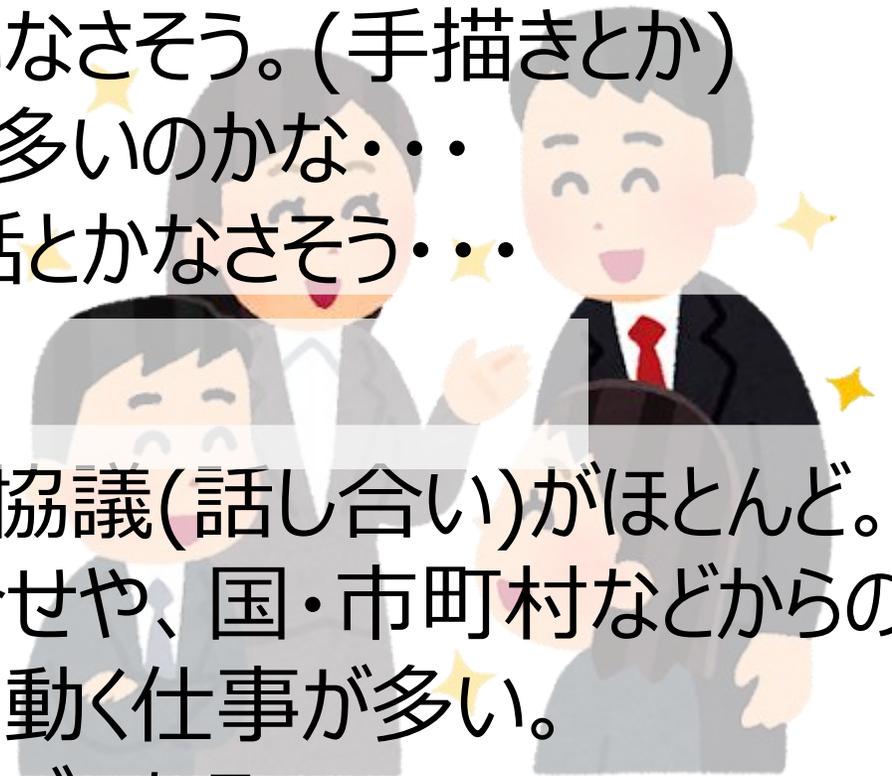
# 入庁前のイメージとのギャップ

## ◆ 入庁前のイメージ

- ・書類仕事が多そう。IT化が進んでいなさそう。(手描きとか)
- ・実際に工事現場で作業する機会も多いのかな・・・
- ・他部署とのやりとりはなさそう・・・会話とかなさそう・・・

## ◆ 入庁してみたら・・・

- ・現場では作業はやらない。チェックや協議(話し合い)がほとんど。
- ・企業・団体からの相談、申請、打合せや、国・市町村などからの相談・手続きなど、様々な仕組みで動く仕事が多い。
- ・1年以上の単位で進める仕事がゴロゴロある。
- ・優しい、にぎやかな人が多く、気軽に働ける雰囲気！



# 仕事をする上で心がけていること

## 【なんでもかんでも、みんなと情報共有！】

一人でバリバリ仕事をこなす！なんてのは古い。みんなで協力して仕事を進めていく。「三人寄れば文殊の知恵」「3本の矢(毛利元就)」

1人でできることは限界があります。同僚と協力することで困難な仕事や独創的な解決策を生み出すことも。チームプレーが大事という環境です。

## 【プライベートを大事に！仕事に役立つことも・・・！】

今の時代、仕事とプライベートを分けるのは当たり前。でもプライベートでの経験が仕事に活かせることも。仕事もプライベートも沢山の経験できる環境です。仕事もプライベートもお互い好循環し、自分が成長できる環境があります。

# 印象に残っている業務

- 初任地での開発許可の担当だった際に、震災復興のため、迅速な審査・許可が必要だった案件について、関係機関の方などの協力を経て、無事許可し、工事竣工まで漕ぎつけることができました。近くを通ると自分が関わってできた施設ということで感慨深くなります。
- 県営住宅の改修の際に、入居者の方が困っていた施設の不具合を直し、感謝のお声をいただいたりしたことです。



# 仕事のやりがい

## 【建築に関する知識が深まる。】

- ・建築が関わる業界が広いことがわかります。法律・工事・都市計画etc…
- ・日々の業務を通じて知識や経験の蓄積が深まり、できることが増えていくことを実感できます。  
→民間と違い、マルチな活躍ができる！
- ・発注者(オーナー)の立場で仕事ができる(要望が言える！)

## 【コミュニケーションや人間力が深まる。】

- ・仕事を通じて、様々なコミュニケーションを行う場面があり、色々な考え方ができるようになっていきます。また、いろいろな人と仕事をすることで人間力が深まっていきます。  
→人脈などが広がり、楽しく仕事(私生活も)できます！

# 職場の雰囲気

○20名程度(課長・総括 + 4班)の都市計画課。

- ・各班3～5名で構成される。
- ・各班は班長 + 副班長 + 班員(1～3名)
- ・男女比はそれぞれ。(半々だったり)



オフィス改革進行中！

○いつでも、しゃべれる雰囲気。

- ・課長や班長は皆、気さく。仕事の相談やプライベートの体験などいつでも話せる雰囲気。
- ・思いやって、コミュニケーションをとることでお互いが心地よい職場に。

# 宮城県職員の魅力

## 【県内屈指の大企業！】

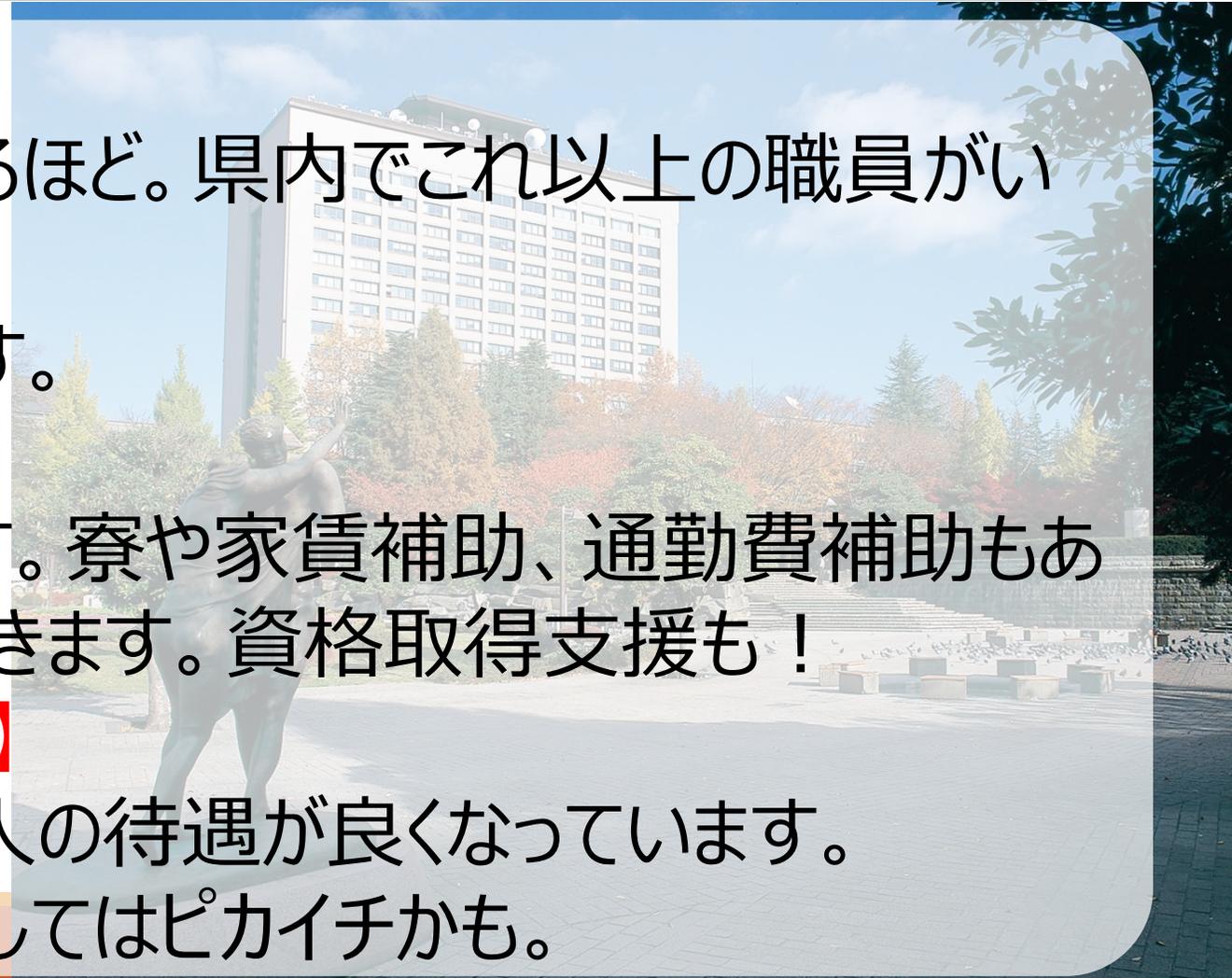
- ・宮城県の職員は4000人を超えるほど。県内でこれ以上の職員がいる企業はあまりありません。  
→いろいろな人に出会える組織です。

## 【転勤がほどよい！】

- ・勤務地は「宮城県内」が基本です。寮や家賃補助、通勤費補助もあるため、地元寄り添って仕事ができます。資格取得支援も！

## 【給料や休日・福利厚生が手厚い】

- ・最近の働き方改革で、特に若い人の待遇が良くなっています。  
休みたいときに休みやすい職場としてはピカイチかも。



# 私の公務員試験対策

## 【総合】

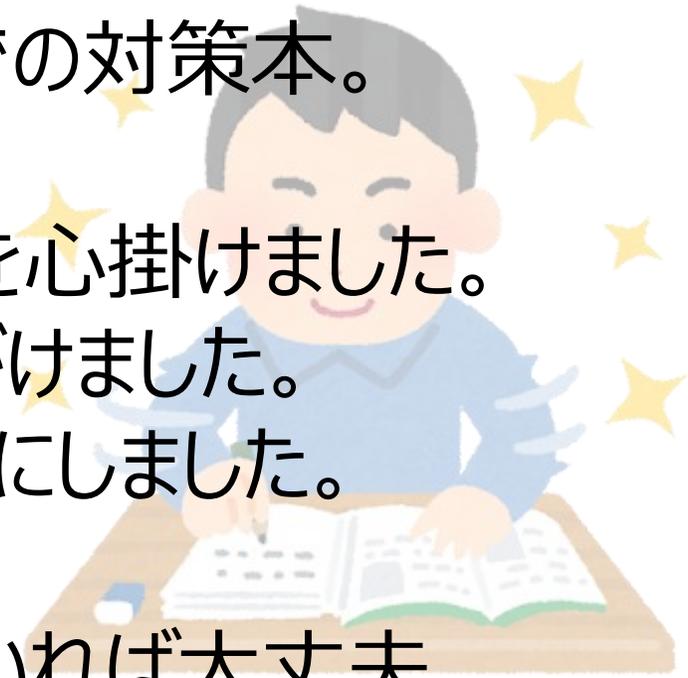
- ・宮城県HPで公表されている過去問 + 本屋での対策本。

## 【面接】

- ・面接本と練習。基本的なお作法・言葉使いを心掛けました。
- ・面接は「筋が通る」ような話ができるように心がけました。
- ・グループワークでは、進んで周りとは協力するようにしました。

## 【建築】

- ・2級建築士の学科試験問題。基本ができていれば大丈夫。



# 先輩職員からのメッセージ

## ○仕事も夢も「建築行政」なら実現できる

多岐にわたる「建築」の仕事。それは仕事だけでなく、自分の生き方にも響くものを与えてくれます。建築を利用する方の安全・利便を追及するこの仕事は、数字に表せない魅力があります。

## ○とりあえず迷ったら、受けてみて！

変化が著しい「建築」業界。そんななかで我々建築行政は私生活も大切にできるように仕事を通じて応援しています。  
**「資格も取りたい、私生活も楽しみたい。」**  
そんな方にはぜひ、宮城県庁建築職へ！

